

様式第五（第二十条第四項関係）

指 定 区 域 台 帳

栃木県

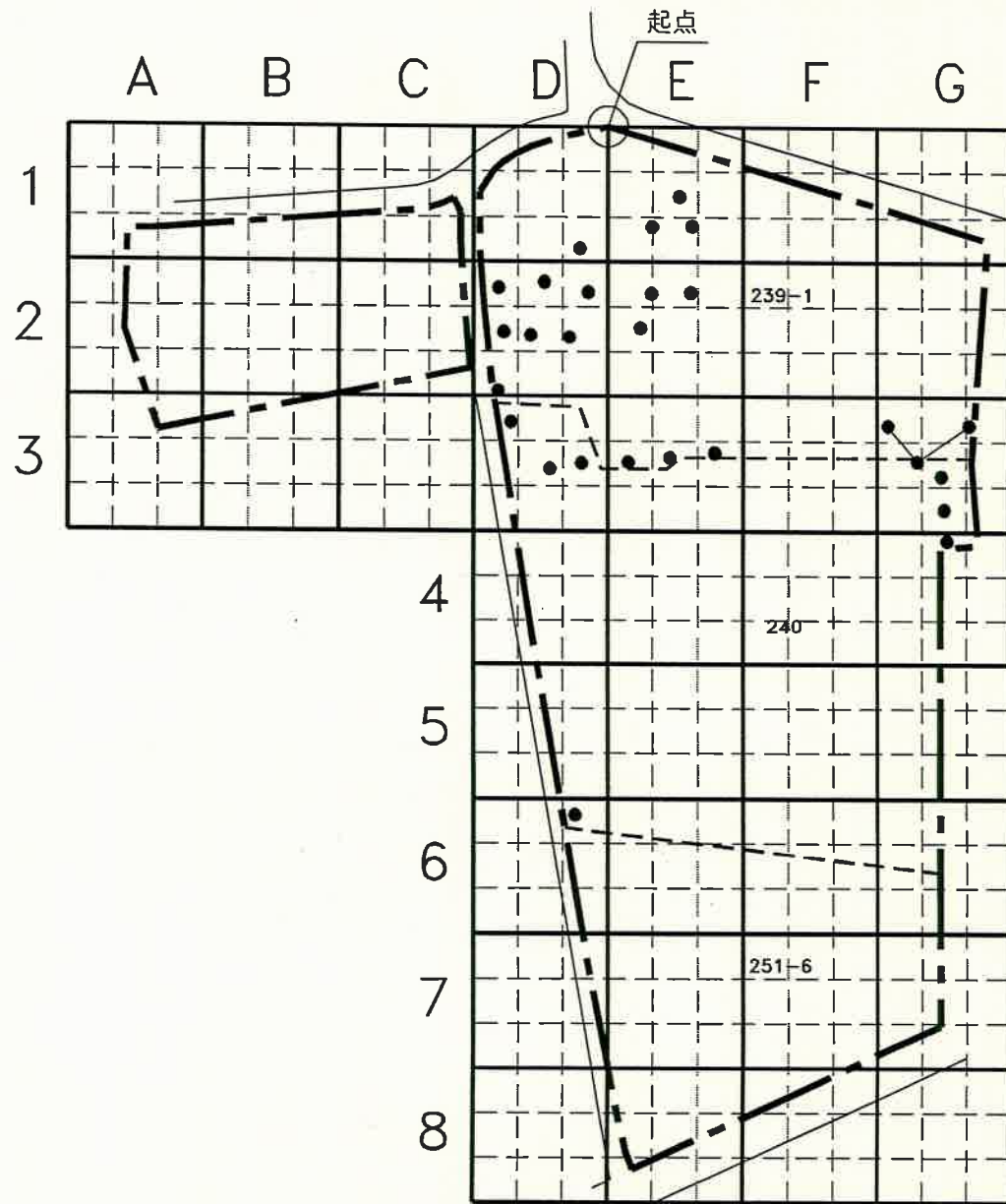
整理番号	整-19-1	指定年月日・指定番号	平成20年2月12日・指-2号		所在地	下都賀郡藤岡町大字甲239番1他二筆	
調整・訂正年月日	平成20年2月12日調製・平成20年2月25日訂正						
指定区域の概況	操業中の工場敷地		面積	16863.60 m <sup>2</sup>	汚染の除去等の措置の要否		<input checked="" type="radio"/> 要・否
指定区域内の 土壌の汚染状態	報告受理年月日	調査対象物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称	
	平成20年1月25日	ほう素及びその化合物		含有量基準 ・ 溶出量基準		栗田工業株式会社	
汚染の除去等 の措置及び土 地の形質の変 更の実施状況	届出（着手）時期	完了時期	汚染除去等の措置又は土地 の形質変更の内容	実施者	土壌搬出	汚染土壌の処理の方法	
	平成20年2月25日		原位置封じ込め（遮水壁の 設置、一部土壌の掘削）	株式会社サンリッツ	有り	認定浄化施設での浄化	



※ 国土地理院「佐野」(H7修正)、「下野藤岡」(H7修正)

この地図は国土地理院長の承諾を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。  
承認番号 平17総複、第628号

図-10 平成7年(1995年)



凡例

--- 敷地境界線

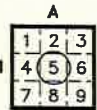
○ 起点

□ 30m格子

□ 10m格子

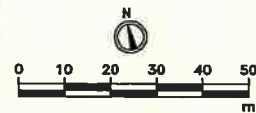
\* 単位区画の名称は右図の通りとする

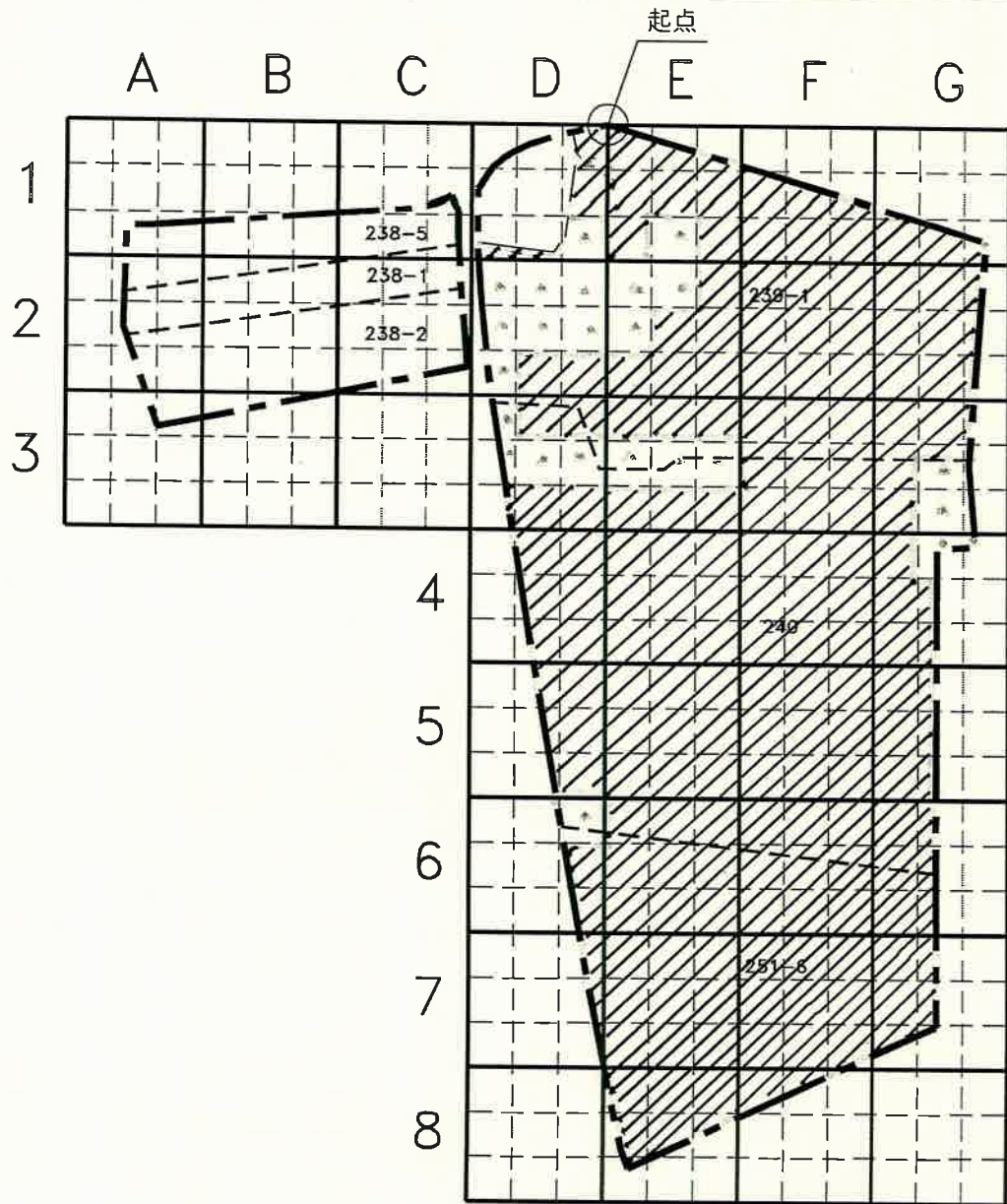
格子回転角度：14.42°



●：試料採取地点

--- 土地番号の区画（概要）





凡 例

- 敷地境界線
- 起点
- 30m格子
- 10m格子

\* 単位区画の名称は右図の通りとする

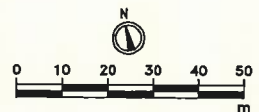
A		
1	2	3
4	5	6
7	8	9

例 ○ : A-1-5

格子回転角度 : 14.42°

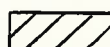
▨ : 指定区域

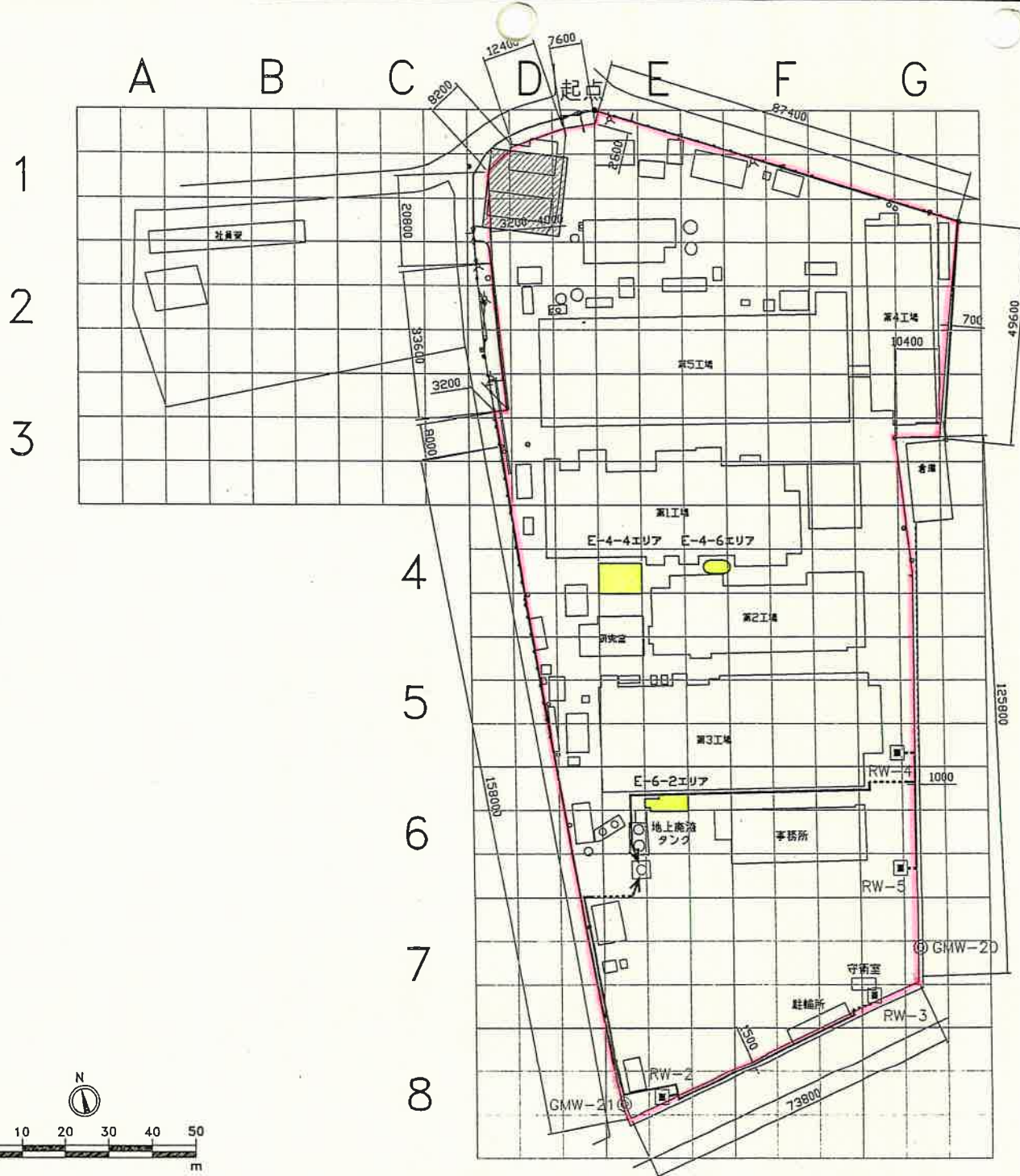
--- 土地番号の区画 (概要)



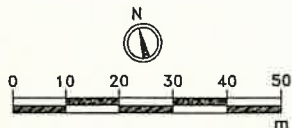
表層付近の土壤溶出量及び含有量調査結果

30m格子名	区画名	深度	採取日	分析日	ほう素及びその化合物	
					土壤含有量	土壤溶出量
					4000 mg/kg以下	1 mg/L以下
D-1	9	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
D-2	1	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
D-2	2	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	0.2
D-2	3	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
D-2	4	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
D-2	5	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
D-2	6	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	0.6
D-2	7	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
D-3	1	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
D-3	5	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
D-3	6	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
D-6	3	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	0.4
E-1	5	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	450	8.2
E-1	7	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	2.2
E-1	8	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	0.9
E-2	1	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
E-2	2	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
E-2	4	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	0.3
E-3	4	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
E-3	5	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
E-3	6	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
G-3	(1,3,4)	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
G-3	5	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
G-3	8	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2
G-4	2	0~0.05m + 0.05~0.5 m	2007/12/27	2008/1/10	<400	<0.2

 : 指定基準超過



- < 凡例 >
- 鋼矢板打設箇所
  - 揚水井戸
  - ⊙ 観測井戸
  - 井水権
  - 掘削除去(予定) 施工箇所: 3箇所
  - ▨ 仮置場箇所
  - ..... 埋設配管を示す
  - 架空配管を示す



株式会社サンリツ 藤岡工場 殿

図-5

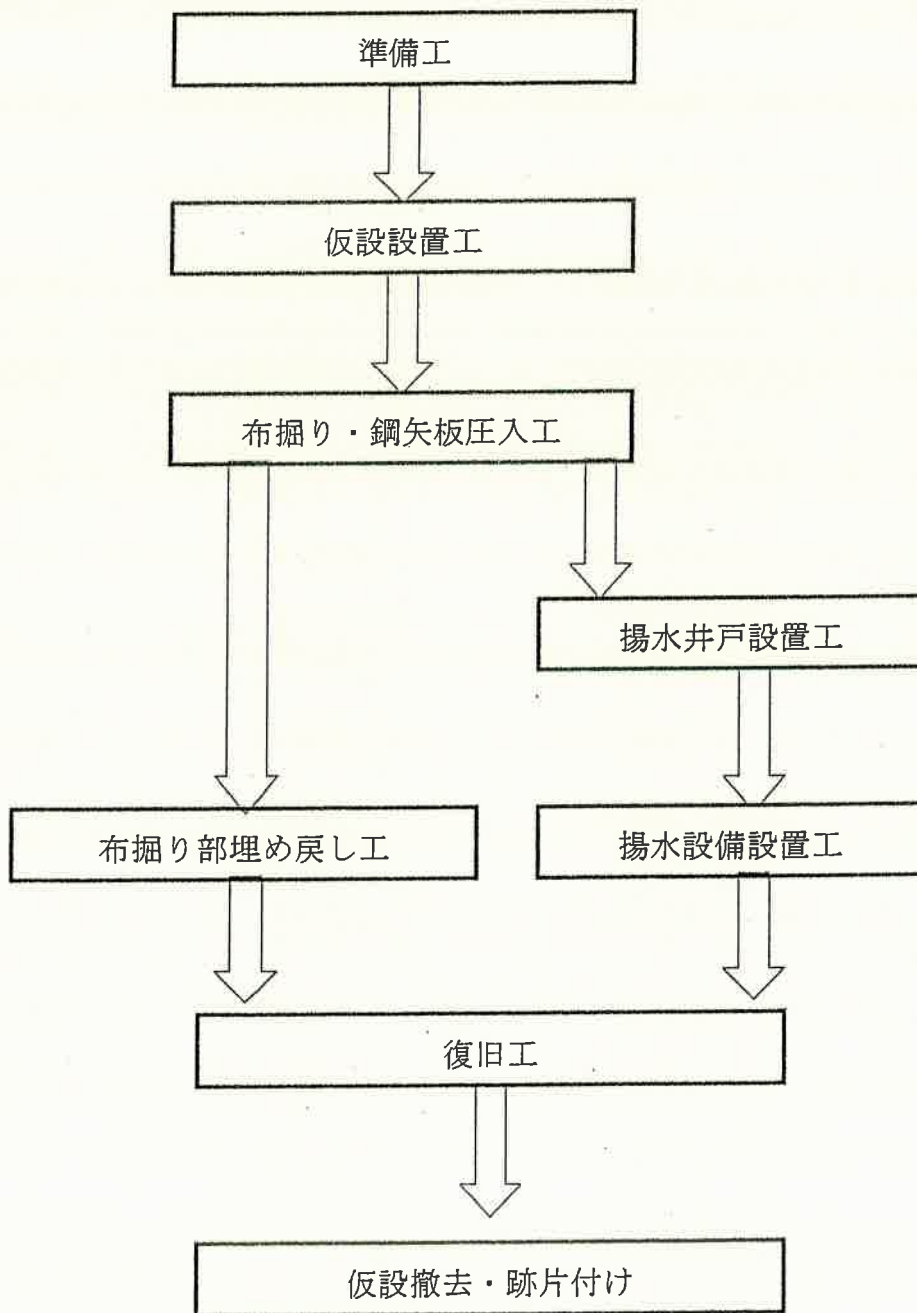
措置計画平面図

SCALE(A3) : 1/1000

① 遮水壁築造工事

工場敷地外周を、鋼矢板で囲み遮水壁とします。第一帯水層を対象としているので、シルト層(粘性土層)が確認できる深度 10m まで築造します。並行して揚水排水設備として、地下水下流側に揚水井戸を 4 箇所設置し、遮水壁構築後揚水を行い地下水位管理します。揚水された地下水は井水槽に送り、タンクローリーにて外部搬出し適正な処理をします。工事で発生したコンクリートガラ等の産業廃棄物も適正に処分します。

【遮水壁築造フロー】



【作業項目】

位置出し測量  
試掘調査

仮事務所設置  
資材置き場設置  
支障物撤去切回し  
仮囲い

必要により  
先行削孔  
鋼矢板圧入

井戸削孔  
配管  
観測井戸

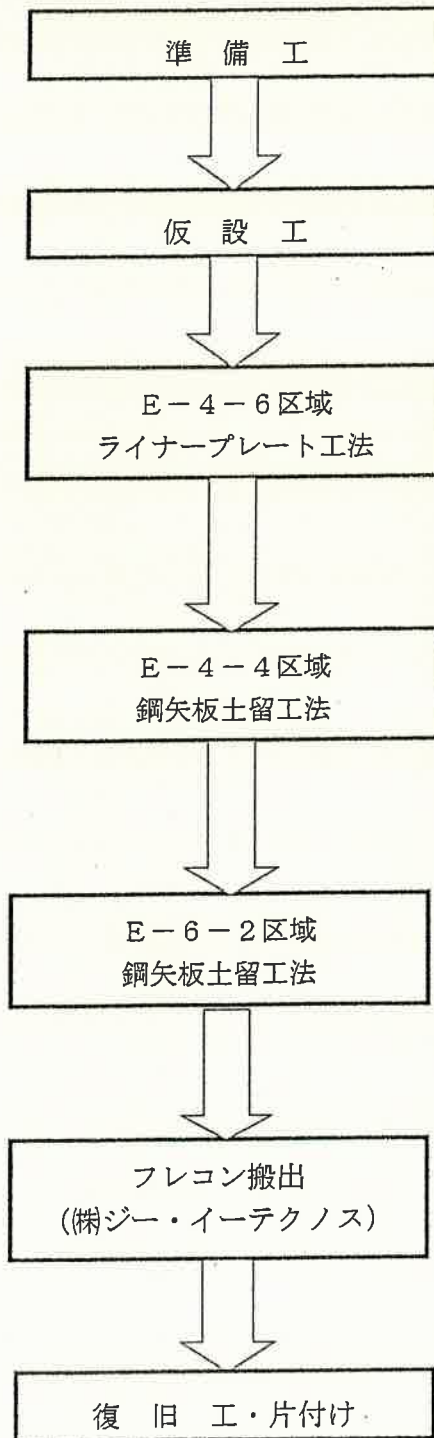
防液堤築造  
井水槽設置  
配管配線

舗装  
境界フェンス  
切り回し配線配管

② 第二溶出量基準超過土壌の掘削除去工事

第二溶出量基準を超過した土壌については、土留を行い掘削除去し、搬出汚染土壌管理票を使用して認定施設にて適正な処理を行います。埋め戻しは公定分析にて確認した清浄土壌を使用します。

【掘削除去フロー】



【作業項目】

測量、試掘  
障害物撤去切回し

搬入路工  
防塵用仮囲い

ライナープレート設置  
掘削フレコン詰め  
フレコン場内仮置き  
清浄土埋め戻し工  
ライナープレート  
(建屋側残置)

鋼矢板打設  
掘削フレコン詰め  
フレコン場内仮置き  
清浄土埋め戻し工  
鋼矢板撤去  
(建屋側残置)

掘削フレコン詰め  
フレコン場内仮置き  
清浄土埋め戻し工  
鋼矢板撤去  
(建屋側残置)

処理施設へ

地下埋設送水管復旧  
土間コン他復旧  
資材置き場撤去復旧